

福福 ネットワーク

第44号 2025.10.1
発行 岡山市立福浜公民館
〒702-8032
岡山市南区福富中一丁目 16-22
TEL・FAX 086-265-4835



10月は秋が深まって、自然の美しさが際立つ頃です。ようやく朝晩は少し涼しさを感じるようになりました。

しかし、まだ日中は日差しが強く、暑い日が続いています。岡山市では9月に入っても気温が37.2℃まで上がり、観測史上最高を記録しました。熱中症の嚴重警戒が続き、日中の外出やエアコンを使わない生活は厳しいものでした。

今年の平均気温は例年より高く、日中の残暑は長引く予想で、本格的な秋の訪れはもう少し先になりそうです。

★★★ 夏祭り・盆踊り大会 ★★★

夏休みに入った7月終わりと8月中旬にかけて、地域では恒例の夏祭りや盆踊り大会が開催されました。

少しでも猛暑の中での活動を避けるため、早朝からやぐらを組んだり、テントを張ったりして準備をしました。そして、気温が上がるまでに設営を終え、日中は外での活動を控え、夕方になると開催に向けて準備を再開されていました。

本番、会場には出店が沢山並び、冷たい飲み物や、美味しい食べ物を求めて列ができていました。子どもたちには、ピンボール掬い、射的などが人気で、一生懸命景品に狙いを定めていました。

賑やかな音楽と太鼓の音が鳴り始めると、やぐらの回りには華やかな浴衣やお揃いの半被を着た人の輪ができ、みなさん笑顔で楽しそうに音楽に合わせて踊っていました。

子どもたちも、出店の手伝いをしたり、やぐらの上で太鼓を叩いたりするなど協力して盛り上げていました。

その他、昨年に続きステージを行ったところがあり、和太鼓や傘踊り、2024年パリオリンピックで初めて種目になったブレイキンなどの見ごたえある技が次々と披露されました。また、最後には抽選会を行い、豪華な景品が当たるお楽しみを企画しているところもありました。



役員の方は早い時期から開催に向けて会議を開き、直前には準備を行い、盆踊りと祭が終わると片付けをし、地域活性のためにご尽力くださいました。

そして、9月からは、運動会や秋祭りが行われ、地域で楽しい行事はまだ続きますので、しっかり体調を整えて親睦を深めながら楽しんでください。



★★★ にこにこ😊ひらふく ★★★

7月24日、平福学区子どもの居場所「にこにこ😊ひらふく 2025 夏」（平福地区民生委員児童委員協議会 主催）が平福小学校で開催されました。

今年は、岡山市水道局職員による出前講座で、「きれいな水道水がお家に届くまでの仕組み」のDVD鑑賞、「カラフルな『人エイクラ』とつかめる水づくり」の実験に挑戦しました。

当日は、民生委員児童委員、主任児童委員の方、中学校のボランティア部がサポートとして参加され、子どもたちが難しいところは一緒に作業しました。完成が見えてくると、笑顔を浮かべて最後まで取り組んでいました。

2022年に立ち上がった「にこにこ😊ひらふく」は年2回の活動を行い、地域内で繋がりながら、子どもたちにとって心地よい場所となっています。



★★★ ジャケットポテト ★★★

7月29日、福浜地区社会福祉協議会、福浜ボランティアの会のご協力で、春からじゃがいもを栽培してきた子どもたちが、収穫したじゃがいもを使って、カレーライスを作りました。グループの中で役割を分担、交代して、大きな鍋でお肉や野菜を炒め、あくを取りながらしっかり煮込んで完成させました。そして、食事をする前に、まとめの学習をしました。栽培活動では育て方について、今回は活動を振り返りながら、じゃがいもの由来や福浜とじゃがいもの歴史について学習しました。



そして、自分たちが作ったカレーライス、地域の方が作ってくださったジャケットポテトやサラダをみんなで美味しくいただきました。

地域の方のご協力で、子どもたちは農作物の栽培方法だけでなく、人との触れ合いや思いやりを学び、貴重な体験をしています。

★★★ おやこの料理教室 ★★★

8月9日、おやこの料理教室（平福学区連合婦人会 主催）がありました。

今年は「おやこで防災キッチン」をテーマに、耐熱性ポリ袋に材料と調味料を入れて湯せん調理するパッククッキングをしました。最初に栄養委員さんにパッククッキングの意味や作り方を説明していただきました。そして、ポリ袋に具材を入れて混ぜ、空気を抜き、袋をねじって上の方で結びました。初めてパッククッキングをする人が多く、栄養委員さんにコツを教えていただきながら、パスタ・オムレツ・蒸しパンを一緒に作りました。お湯からポリ袋を上げてお皿に盛り付け、食べてみると予想以上に美味しく、あっという間に完食しました。

万が一のために備える必要性の意識は高まっています。福浜中学校区でも、地域団体、町内会、学校園、公民館など多くが防災・減災の取り組みをしています。

